令和2年度

地球温暖化

配慮行動の主な取組み 事例集

千代田区温暖化配慮行動計画書制度

Biz
御仕事
Eco
“恵呼化”
Models
見本帖

目次

制度概要と経緯 …… 3

受賞事業所 …… 4～9

最優秀賞　東京海上日動火災保険株式会社 …… 4～5

環境配慮賞　株式会社ルミネ 有楽町店 …… 6

特別賞　株式会社大塚商会 …… 7

日本郵船株式会社 …… 8

前田建設工業株式会社 …… 9

応募企業35社のわが社のECO自慢…… 10～13

令和2年度 提出事業所 …… 14～15

区内事業所の主な取組み …… 16

区の主な施策 …… 17

一般社団法人『千代田エコシステム推進協議会』のご紹介 …… 18

(一社) 千代田エコシステム推進協議会 会員募集 …… 19

制度概要と経緯

千代田区は、平成20年1月、「2020年までに区内のCO_2排出量を1990年比で25%削減する」という目標を定めた「千代田区地球温暖化対策条例」を施行しました。また、平成21年1月には国から「環境モデル都市」に選定されました。

業務機能が集中している千代田区は、CO_2排出量の77%（2018年度）を、オフィスを中心とする業務部門が占めているため、業務部門のCO_2をいかに削減するかが課題となっています。

そこで区は、事業所の省エネ対策（ハード面）を推進するとともに、事業所が日頃から実践している環境配慮の取組み（ソフト面）をさらに進め、これからも取組みを継続してほしいという願いをこめて、平成23年度から「千代田区温暖化配慮行動計画書制度」を導入しました。

この制度は、区内の各事業所が取り組んでいる「環境活動」「環境教育」「地域貢献」などの温暖化配慮行動について、その実施状況や計画を毎年区へ報告していただくもので、今年度は255事業所から提出がありました。

対象
- 義務提出事業所：従業員数300人以上の事業所(特定事業所)
- 任意提出事業所：従業員数300人未満の事業所

※ 任意でご提出いただいた取組みも表彰対象になります。

提出期限 毎年8月末日

他の模範となる取組みを実施した事業所を表彰します!

区は、提出のあった事業所の取組み状況を公表し、優良な取組みを表彰します。
公表及び表彰することにより、各事業所の温暖化配慮行動の促進や優良な取組みの普及を図ります。
※公表は、提出のあった事業所名のほか、取組み事例を掲載します。

表彰種別

最優秀賞
省エネ、環境教育、地域貢献の取組みにおいて、義務で提出のあった事業所で、最も優良な取組みを実施した事業所

環境配慮賞
省エネ、環境教育、地域貢献の取組みにおいて、任意で提出のあった事業所で、最も優良な取組みを実施した事業所

特別賞
「最優秀賞」「環境配慮賞」の対象とならなかった事業所の中で、表彰に値する優良な取組みを行っている事業所

詳しくは区のHPを検索!!　千代田区温暖化配慮行動計画書制度　で検索!

過去の受賞事業所一覧

	令和元年度 表彰		平成30年度 表彰	平成29年度 表彰	平成28年度 表彰
最優秀賞	日本郵船株式会社	最優秀賞	三井住友海上火災保険株式会社	三菱地所株式会社	富士ソフト株式会社
—	—	優秀賞	株式会社そごう・西武	株式会社大塚商会	日本製紙株式会社
特別賞	NECネッツエスアイ・サービス株式会社	特別賞	三菱地所株式会社	三井住友海上火災保険株式会社	旭硝子株式会社 川崎汽船株式会社 KDDI株式会社 新日鐵住金株式会社 株式会社帝国ホテル 日本大学病院 三菱地所株式会社
環境配慮賞	—	環境配慮賞	三幸株式会社	NECネッツエスアイ・サービス株式会社	株式会社日清製粉グループ本社
総提出事業所数	270	総提出事業所数	272	264	247

最優秀賞
2020

東京海上日動火災保険株式会社

所在地　千代田区丸の内1丁目2番1号　東京海上日動ビルディング

省エネ・温暖化防止活動

マングローブ植林活動の実施

「環境に関することで長く続けられること」との社員の思いから、創立120周年記念事業の一環として、1999年より二酸化炭素吸収効果の高いマングローブの植林活動を開始し、20年以上継続しています。植林面積は累計11,240ヘクタールに達しました。植林NGOや地元住民と連携して実施しているものですが、年1回程度世界各地のグループ社員、代理店やその家族もボランティアとして参加しています。

ドローンで撮影

植林したマングローブで水鳥が羽を休める様子

現地の子どもたちと

Green Gift プロジェクトの実施

2009年から「お客様と一緒に環境保護活動を行うこと」をコンセプトに開始した取組みです。お客様に「ご契約のしおり」等を紙の冊子ではなく、ホームページ上で閲覧いただく「Web約款」をご選択いただくことで、毎年約3,000トンの紙資源使用量の削減につながっています。その削減額の一部は、NPO等への寄付を通じ、マングローブ植林をはじめとした国内外の環境保護活動をサポートしています。

Grand-Prix

環境教育・地域貢献

みどりの授業の実施

「次世代を担う子どもたちに主体的に環境について考えてほしい」という思いから、2005年より実施している環境啓発活動です。全国の社員や代理店がボランティア講師となって、小学校や特別支援学校に出向き、マングローブ植林を題材に「地球温暖化防止・生物多様性」をテーマとした授業を行っています。累計受講者数は5.7万人を超えました。

子どもたちによる話し合い

社員がボランティア講師

こども環境大賞の開催

「次世代を担う小学生に、環境問題に関心を持つきっかけとしてもらい、社会全体の環境啓発につなげたい」という思いから、2008年より実施している環境啓発活動です。「大切にしたいわたしたちの自然と人との関わり」や「わたしたちと地球の未来」等のテーマで作品（作文・絵画）を募集し、大賞受賞者は「エコ体験ツアー」に招待しています。

まとめ

現在までの活動の成果

「マングローブ植林」により、過去20年の間に生み出された生態系サービスの価値が、累計で約1,185億円に達しているとの試算結果を得ました。マングローブは地球温暖化防止や生物多様性保全の他、防災・防潮効果もあり、地元の人々の暮らしを経済的に支えることにも貢献していることが分かりました。マングローブ植林活動を永く続けてきたことは当社の誇りです。

今後の展望

本年9月に「気候変動に関する当社の基本的な考え方」を公表しました。省エネ対策に加え、保険本業を通じて再生可能なエネルギーの促進に貢献する等、気候変動に伴う各種課題の解決に取り組んでいきます。また、「未来を担う世代を育てる」啓発活動については、リモートで学べるコンテンツづくりにも力を入れていきたいと考えています。

環境配慮賞 2020

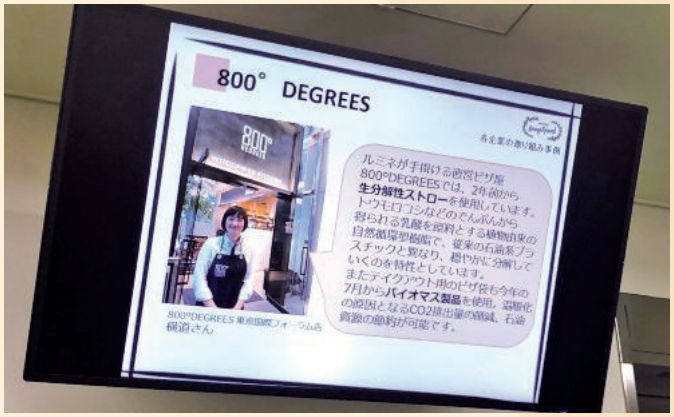
株式会社ルミネ 有楽町店

所在地 東京都千代田区有楽町2丁目5番1号

省エネ・温暖化防止活動

情報発信

持続可能な社会を目指し、環境に関する情報を発信しています。例えば、大量生産された洋服をリユースする制度を導入しているアパレルブランドの紹介や、当社子会社が実施しているプラスチックごみ削減のための取組み事例の紹介などをモニターに放映しています。



モニターに放映している様子

マイバック普及のための取組み

プラスチック製買物袋の有料化やマイバッグ持参を推奨しています。

お客さまがルミネのネット通販「アイルミネ」にて商品を購入し、店頭受取でマイバックを持参された場合には、ノベルティをプレゼントしました。（プレゼント企画は2021年1月31日終了）

HPや店頭での告知POPの例

環境教育

チョロコの実施

環境について考え、行動するためのプロジェクトとして、2011年に「choroko(チョロコ)」を始めました。「choroko」とは、スワヒリ語で緑豆を意味する言葉です。一人ひとりの心の中に、環境や社会に対する意識を芽生えさせ、すくすくと育てていきたいという思いを込めて名付けられました。

この活動をきっかけに、有楽町店のみならず各ショップで環境配慮行動に関する取組みを共有したことで、廃棄物・資源制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化などの課題解決に向けた意識啓発につながりました。

地域貢献

区内一斉清掃・打ち水への参加

有楽町地区生活環境改善推進連絡会での清掃・啓蒙活動に毎月参加しています。また、有楽町駅周辺まちづくり協議会主催の「有楽町清涼フェスタ」での打ち水へ参加しています。

まとめ

現在までの活動の成果

当店が2012年度から参加しているライトダウンCPにおいて、一日数時間の消灯だけでもどれだけ電力を削減できるのか分析し、未来への成果に結びつけられることを学ぶことができました。また、環境負荷などの課題を強く意識するきっかけとなりました。

※ライトダウンCPとは…消灯を実施し、天の川を見ながら地球環境の大切さを日本国民全体で再確認し、年に一度、低炭素社会への歩みを実感するとともに、家庭や職場における取組みを推進するためのもの。

今後の展望

ニューノーマルな時代に対して、こまめに対応し、考えながら行動を起こしていくことが重要であり、環境とともに働くことが持続的社会へつながる一歩だと再確認しました。今後は、新しい生活様式に沿った換気を行うことが重要であると考えております。

令和2年度は、営業時間が短縮になったにもかかわらず、新型コロナウイルス感染症対策として外気を取り入れながらの冷房運転を行ったため総合して空調負荷が増えてしまいました。コロナ禍で、どのように負荷を減らして、安全に配慮をしつつ運営していくか模索が必要です。効果的な冷暖房の環境を整え、お客さま、従業員の安全に配慮して、運用していくことがこれからの必須課題と感じています。

特別賞 2020

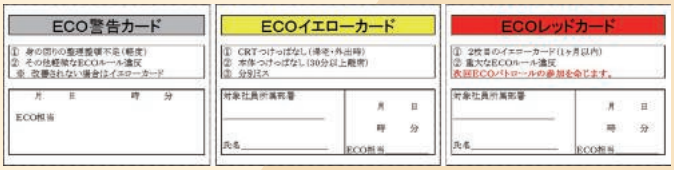
株式会社大塚商会

所在地 東京都千代田区飯田橋2丁目18番4号

省エネ・温暖化防止活動

エコパトロール

エコパトロールを実施し、「長時間離席時のパソコン電源OFF」、「ゴミの分別」を実行できていない社員のデスク等にイエローカードを貼り、さらに改善がみられない社員には、レッドカードで注意喚起をしています。レッドカードが出た社員の氏名は、公共の社内掲示板に掲示されます。つまり、全体に周知されることがペナルティとなります。



各カードの様式

環境教育

環境eラーニング及び啓発活動

毎年、PCを使った独自学習による環境eラーニングを実施しています。テストで合格点をとれば受講完了となります。また、CES（千代田エコシステム推進協議会）の各種案内を始めとして、社内イントラ掲示板で環境イベント等の告知を実施しています。

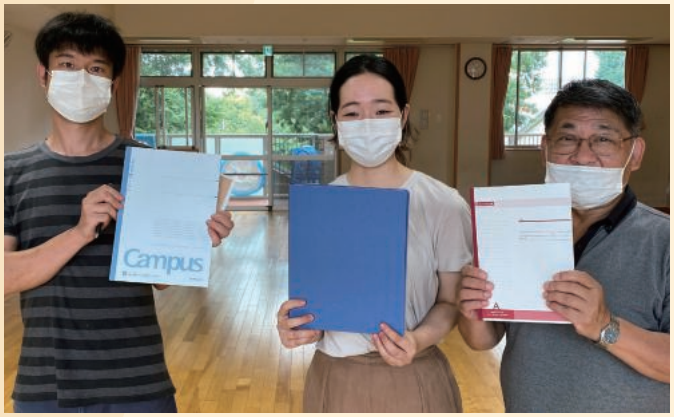
地域貢献

たのくんからの贈り物

2003年からオフィス通信販売事業「たのめーる」で販売終了となった商品やお客様先からの戻入品を非営利団体に寄贈する社会貢献プログラム「たのくんからの贈り物」を実施しています。

これまではこういった商品は全て産業廃棄物として処理していましたが、これを寄付することで環境負荷の低減にもつながり、非営利団体の皆様にも大変喜んでいただいています。

被災者への物資提供において、熊本YWCAのセンターで物資を分けているところ



ノートブック30枚 1セットを保育園内にて使用

まとめ

現在までの活動の成果

大塚商会ではユーザーの下取回収品や社内廃棄物の増加に伴い、資源の有効活用と法令順守を目的として東京と大阪にリサイクルセンターを開設しています。

ここでは全国から回収したユーザーからの下取回収品や社内の不要物を約50種類に分別・整理し、有価物として売却や資源リサイクル処理ができる産廃業者へ処理委託することで100%近いリサイクル率を実現しています。

今後の展望

大塚商会では環境の中期計画として「大塚エコ・アクション・プラン」を策定し取り組んでいます。現在の「大塚エコ・アクション・プラン」は令和2年度が目標年度のため、現在次期計画を策定中です。基本的には国際目標であるSDGsの目標達成に貢献する取組みを計画しています。

特別賞 2020

日本郵船株式会社

所在地 千代田区丸の内2丁目3番2号 郵船ビル

省エネ・温暖化防止活動

CO2CO2（コツコツ）運動

弊社内、及びグループ会社と共有の電子掲示板にて、節水や節電、紙の使用量削減に関する周知、各資源の節減の進捗状況や前年との比較状況の共有を都度行い、関係者の意識向上と省資源活動に対する行動の促進を行っています。

弊社本社内におきましては、食堂や喫茶室、トイレ等目のつく場所へのポスターや、毎年グループ全体から募集しております「環境川柳」、「環境スローガン」、「環境保全を想起させる写真」等の掲示を行い、電子掲示板と併せて関係者の意識向上と省資源活動に対する行動の促進を行って参りました。

2020年度環境フォトコンテスト優秀作品

環境教育

グループ環境経営連絡会の報奨制度

国内にあるグループ会社間での環境活動情報の共有により、グループの環境経営を推進することを目的として開催しております。個社だけでは認知の及ばない環境関連活動に対し、各グループ会社へ具体的なアクションを促す気付きの機会を提供出来ているものと考えます。

環境負荷低減に取り組むグループ会社を表彰

YUSENボランティア・ポイント制度

グループ社員の行った各種ボランティア活動や社会貢献活動の内容をポイントにして登録、その合計ポイントを金額に換算して当社から社会貢献活動団体に寄付しています。

地域貢献

インターンの受け入れ

環境グループでは毎年、海技者を目指す学生を対象にインターンを受け入れています。当社での実際の業務経験を通し、環境に対する企業の責任、海運業特有の環境対策について学ぶ機会を提供しています。

教育の民間企業研修

一般財団法人経済広報センターに協力し、同センター主催の「教員の民間企業研修」として、小・中学校の教員を受け入れます。学校の夏休み期間を利用して教員の方々に企業の人材育成、環境課題への取組みなどについて理解を促進し、研修体験を子どもたちに伝え、今後の学校運営に生かして頂くことを目的に実施されています。

まとめ

現在までの活動の成果

弊社グループのGreen House Gas(GHG)排出量の9割以上が船舶由来であり、2012年度からIBIS(Innovative Bunker & Idle-time Saving)プロジェクトを発足させ、船舶の燃料節約活動を通じたGHG排出量の低減に注力して参りました。2019年度からはプロジェクト名を「IBIS TWO Plus」へ改め、グループ全体でGHG排出量の低減を追求しています。

今後の展望

先ずは、既に取り組んでおりますオフィスや運航船隊での省エネの取組みを着実に継続し、効果を増進させていくことが第一と考えています。

その取組みの中で、オフィス・運航船隊双方において、お客様や公共団体との協業を通じて更に可能となる取組みがあるものと考えておりますため、従前の取組みを継続・深度化させつつ、社外とのコミュニケーションを増やし、皆様との協業の取組みを深耕して参りたいと考えています。

特別賞 2020

前田建設工業株式会社

所在地 千代田区富士見2丁目10番2号

省エネ・温暖化防止活動

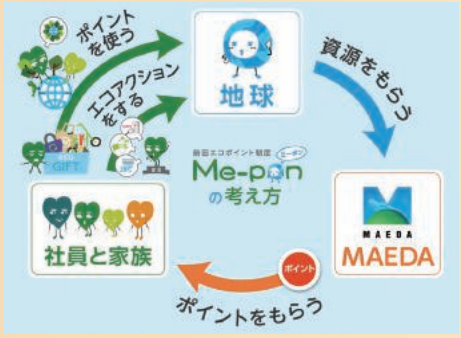
設計・施工段階での取組み

環境配慮設計の推進のため「建築物環境総合性能評価システム(CASBEE)」を組み込み、一定評価以上となるよう取り組んでいます。また、作業所における建設重機等の省燃費運転教育をCO_2排出量の削減に効果的な手段と位置付けて様々な教育を実施した結果、2019年度は約3,500tのCO_2削減に寄与しました。

環境教育

独自のエコポイント制度「Me-pon」の実施

2010年から開始したこの制度は、日常生活において積極的に環境活動に取り組む社員とその家族を応援することを目的に始まりました。過去には、どんぐりを育ててその苗木を植える活動や、ゴーヤや朝顔を育ててグリーンカーテンを作る等、様々な活動を実施してきました。



Me-ponのしくみ

社員・グループ企業における環境活動の表彰

当社では、「MAEDA環境経営宣言」において環境活動とその成果を利益と同様最重要社内評価軸にしています。それに加え「MAEDA企業行動憲章」では社会貢献活動の積極的な推進を宣言しており、社員の自発的な活動を支援する表彰制度を設けています。表彰の内容としては、「公共施設工事における作業所敷地内でのウミガメの産卵場所の保護を通じ、生物多様性保全活動を行ったこと」やコロナ対応として「地元野菜や被災地のPR、休校となった小学生への自習室を提供したこと」などがあります。

地域貢献

MAEDAの森での森林整備

福井県・長野県・熊本県の全国3箇所にある「MAEDAの森」では、現地の自治体や森林組合を通じて地域の方々と森づくりを行っています。地域の方からも「地元では行き届かない場所も企業が入ることで作業が可能になる」と好評であり、活動に関わるすべての人の環境意識の向上に繋がっています。

MAEDAの森たかもり集合写真

まとめ

現在までの活動の成果

当社の社内エコポイント制度“Me-pon”が、「環境人づくり企業大賞2014」において大賞(環境大臣賞)を受賞しました。この賞は、環境経営の推進や環境問題の解決に取り組む人材の育成を目的としています。育成の対象を社員のみならずその家族にも広げ、独自制度を整備・運用することで環境意識の醸成と環境活動の実践へと繋げた結果、社員からも好評の声があがったため、自他ともに成果を感じることが出来た取組みの一つです。

今後の展望

2019年にSBT認証を取得しました。目標達成に向け新築・改修ともに建物のZEB化を進め、木造生産システムの技術開発などについても推進します。また、2050年までに事業の再生エネルギー使用率100%とする「RE100」の取組みを推進し、温室効果ガスの削減に貢献していきます。